

わが家の家事シェアは

“できる人がやる”という考え方が大事



• case • 03

Profile

やまもと きょうた

山本 鉦太 さん(39)
会社員

【勤務時間と休日】
8時～19時。土日祝日休み

【担当家事】洗濯、掃除、
長女の宿題&PTA活動

まきみ

山本 雅美 さん(38)
会社員

【勤務時間と休日】
8時～18時30分。土日祝日休み

【担当家事】料理、買い物、家族行事、
掃除(トイレやお風呂など)、
次女のケア

7歳の長女、2歳の次女と4人暮らし

分担の比率にはこだわらず、 便利な家電なども活用

「家族を運営するためには、性別に関係なく協力し合うのが当たり前」と、家事もほぼ夫婦半々で行っている山本家。「でも今は、私3:夫7くらいかも」という雅美さんに、鉦太さんは「どれだけできるかは時期によっても変わるので、比率にこだわらなくていいと思う。家事は必ず誰

かがやらなくちゃいけないこと。子どものためにも、“できる人がやる”という考え方が大事だと思います」と言います。

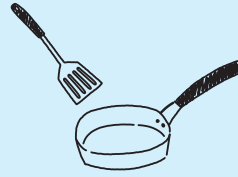
分担はそれぞれの得手不得手に合わせて決まっているそうですが、ロボット掃除機や食器洗い乾燥機、洗濯乾燥機を導入するなど、家事の省力化も図っています。夫婦二人とも帰宅が遅くなるときは、ベビーシッターを頼むことも。

家事・育児の分担を ビジュアル化し、プレゼン

とはいえ、思うようにいかない時期も。雅美さんは長女出産後、以前と同じペースでは働けないことに悩み、変わらず働いている鉦太さんを羨んだこともあったとか。そこで雅美さんは夫婦の家事・育児の時間割合や帰宅時間

をまとめた資料を作り、鉦太さんと話し合いの場を設けることに。「話し合わずにいると、どんどんすれ違ってしまおうと思いました。資料を作ったのは数値&ビジュアル化したほうが、夫に伝わりやすかったからです。二人とも仕事柄、プレゼンテーションの資料を目にする機会が多いので」。それをきっかけに何度も意見をすり合わせ、お互いの意識も変化したそう。

山本さん家の「家事シェア」事情



料理は多めに作って 冷凍&ストック

特に“つくりおき”のためだけの料理はしないという雅美さん。食事は多めに作って冷凍し、解凍すれば食べられるようにストックしています。「でも疲れているとメニューを決めるのもキツイ。そういうときはお惣菜を買います」



性格に合わせた分担を

長女の宿題の指導やチェックは鉦太さんの担当。「夫の方が教えるのがうまいんですよ。私はつい感情的になってしまうので(笑)」と雅美さん。論理的で要領をつかむのが得意な鉦太さんの性格は、洗濯や食器洗いなどにも発揮されているとか



人の手を借りることも必要

～ベビーシッターの活用について～



ベビーシッターの利用は、長女の産休・育休から復帰する際に預けるようになったのがきっかけでした。夫婦共に転勤が多く、親や親戚を頼ることも難しい状況で「人の手を借りることも考えないとパンクしてしまうと思った」と雅美さん。必ず何社か試し、「この人なら大丈夫」と思える人に頼んでいるそうです。「娘たちもシッターさんのことが大好きなんです。全力で遊んでくれるから楽しいみたい」。今は主に、お迎えと夕食(雅美さんが作っておいたものを温める)の世話などを依頼しています。

一時的に子どもを預けられる制度もあります

札幌市には、ボランティアや医療機関・保育園などで一時的に子どもを預かる制度もあります。リフレッシュしたいときや子どもの病氣回復期などに利用できます。手続きの方法など、詳しくは「さっぽろ子育て情報サイト」をチェックしてください。右記二次元コードからアクセスできます。

こちらから！

